

月曜日を除いて毎朝朝の打ち合わせを行っている。諸連絡や確認事項、休んでいる子の確認・・・短い時間で、「共有」する。その打ち合わせの最後にその日の司会の先生が「子どもの姿」を話してくださる▼話の内容はほぼ9割方「きらりと光る子どもの事実」である。今日は教頭先生が、掃除の時間での3年生の素敵な姿を紹介してくださった。いつも一緒に掃除をしている教頭先生が不在であったある日、自分たちで1人バケツ一杯の草を取るという目標を決めて、草取りを頑張り、次の日にそのことを嬉しそうに報告したそうだ▼その話を教頭先生はとてもうれしそうに話してくださった。3年生の担任の先生もとても嬉しそうだった。もちろん聞いている先生方もほっこりする。笑顔の共有である▼本校では、2週間に1回学級だよりが出されている。昨年度の後半あたりから、学級だよりの書きぶりが子どもたちに向けて書かれていることをご存じだろうか？▼先生方が、学級だよりを出す目的を「共有」してきた結果、「子どもに向かって事実を書く」ことが土台となって、「価値づけをする」「勇気づけをする」という哲学が育った▼きっと先生方は「笑顔」でたよりを書いてくださっている。金曜日には、そのたよりを笑顔で読んでくれている子どもがいて、家では保護者の方が笑顔で読んでくださっているに違いない。「笑顔の共有」は元気が出る。